



「世界てんかんの日2017」記念イベント 盛会に実施しました。

◇ 日時：2月12日(日) 午後2時～午後4時30分

◇ 会場：アルカディア市ヶ谷(東京・千代田区)

国際てんかん協会(IBE)と国際抗てんかん連盟(ILAE)が2月の第2月曜日に定めた「世界てんかんの日(IED)」(今年は、2月13日(月))を記念し、日本でも昨年に続き記念のイベントを2月12日(日)に実施しました(参加者：約160名)。

この事業は、当協会と日本てんかん学会の共

催で企画・実施し、てんかん治療研究振興財団、全国てんかんセンター協議会が後援する、国内のてんかん関連全国組織すべてが関与する事業として実施しました。また、「世界てんかんの日」は、今年1月6日に、一般社団法人日本記念日協会に公式記念日として登録されました。

イベントの内容

● 開会あいさつ 「てんかんとは」

大澤 眞木子(一般社団法人日本てんかん学会 理事長)

● 来賓あいさつ(行政報告)

「日本におけるてんかん施策」

立崎 憲一(厚生労働省職業安定局雇用開発部障害者雇用対策課地域就労支援室就労支援係長)

磯谷 桂太郎(文部科学省初等中等教育局特別支援教育科企画調整係長)

● 実演(てんかん専門看護師からのメッセージ)

「発作の介助(観察と記録)」

豊泉 三枝子、青柳 政彦(独立行政法人国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター看護部 看護師)

● てんかん講談(当事者からのメッセージ)

「病気だってもだち」 加納 塩梅(講談看護師)



「世界てんかんの日2017」記念イベント



当日は、介助の実演や講談で、参加者のみなさんに具体的かつ楽しくてんかんを知っていただくことができました。また、加藤勝信衆議院議員(一億総活躍担当大臣)、松本純衆議院議員(国家公安委員長)、てんかん対策推進プロジェクトチームなどから、お祝いの言葉を賜りました。皆さまにこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

● 関係者メッセージ

「てんかん支援のさまざまな形です」

井上 有史(全国てんかんセンター協議会 代表)

黒岩 ルビー(ドラベ症候群患者家族会 副代表)

● SNSを利用した啓発動画の紹介

「YouTubeやFacebookから配信します」

てんかん啓発動画の上映と紹介(短編全6作品)

● 閉会あいさつ

「てんかんを取り巻く最近のうごき」

鶴井 啓司(公益社団法人日本てんかん協会 会長)

2017年2月12日(日)読売新聞・朝日新聞の朝刊一面に小枠広告を掲載しました。

※「世界てんかんの日(13日(月))」が新聞休刊日のため

2月の第2月曜日は
世界てんかんの日
(International Epilepsy Day/IED)

てんかんのことをもっと知ってください!

てんかんは、脳神経の病気で誰もがかかる可能性があり、現在国内にはおよそ100万人の患者さんがいます。また、てんかんは適切な治療を受けることで7割以上の人が発作をコントロールできます。

記念イベントを本日開催します。

てんかんイベントの情報は、次のWebからご確認ください。

<http://www.jea-net.jp/>

一般社団法人
日本てんかん学会

公益社団法人
日本てんかん協会

朝日新聞に掲載

明日は
世界
てんかんの日

国際てんかん協会(IBE)と
国際抗てんかん連盟(ILAE)は、
毎年2月の第2月曜日を
「世界てんかんの日」と
することを2015年に決めました。
「世界てんかんの日」には世界で
様々な活動が行われています。

日本でも記念イベントを本日開催!

詳しくは <http://www.jea-net.jp>

一般社団法人
日本てんかん学会

公益社団法人
日本てんかん協会

読売新聞に掲載